

青少年祖師谷地区委員会だより

令和7年3月

発行 青少年祖師谷地区委員会 広報担当

事務局 祖師谷まちづくりセンター ☎ 3482-2201

青少年祖師谷地区委員会
会 長 川添 雅子

今年度はさまざまなイベントが戻ってきた一年となりました。子どもたちが安全に楽しめるようにと、細やかな気配りと工夫を凝らした企画に、学校や各団体の意気込みを感じました。選挙スケジュールにより、まちを上げての五年ぶりの祖師谷ふるさとフェスティバルが中止になったのは残念でしたが、地区委員会としての活動の中でも子どもたちの元気な姿をたくさん見ることができました。

これからも子どもたちの安全・安心のため、地域の皆様と見守りを続けていくとともに、一つでも多くの「ふるさと祖師谷」の楽しい記憶となるよう活動していきたいと思います。

令和6年度青少年祖師谷地区委員会の活動

- 6月 そしがや子どもフェスティバル（助成・協力事業）
- 7月 そしがや夏まつり（参加事業）
子ども施設見学会（主催事業）
- 9月 塚戸小学校サバイバルキャンプ（共催事業・学校協議会）
- 10月 祖師谷ふるさとフェスティバル（参加事業・児童館）※中止
- 12月 不審者対策看板の作成（主催事業）
- 2月 学校関係者との意見交換会（主催事業）
- 3月 子どもポッチャ大会（主催事業）
地区委員研修会
- ※ 地区委員会全体会（6回）
- ※ 広報紙発行



本物に触れる

祖師谷小学校 校長 小俣 和也

祖師谷小学校では、各学年が地域を活用し、本物に触れる学習を行っています。

1年生と2年生は成城消防署から来てくれた消防車の写生会を行いました。2年生は商店街のお店や事業所に行き、人気がある商品等についてインタビューしました。3年生は大型ショッピングセンターに行き、売り場だけでなくバックヤードの様子も見学しました。また、農園にも行き祖師谷で栽培されている野菜を学習しました。消防署見学や地域安全マップ作り等もあります。4年生は社会福祉協議会や避難所運営委員会にお世話になりインクルーシブ教育や災害教育を行いました。5年生は外国語学習で、自分たちの街を外国の方に英語で紹介しました。



“We have Soshigaya children's center. You can play board games, card games and ball games.”

“We have the Ultraman shopping street. You can enjoy shopping.”

等をスピーチしました。上手に発音する子も見られました。6年生は成城学園にある恐竜・化石ギャラリーを理科学習として見学しました。5年生と6年生は、12月に地域清掃を行い、きれいな街作りに取り組んでいます。

地域の方々の活動として、本校の校庭で開催される夏まつりやもちつきもあります。

本物を直接見る、直接聞く、体験するという活動は、映像では学べない良さがあります。このような学習ができる祖師谷の街で、子どもたちの充実した学習活動をこれからも続けていけたら幸いです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「笑顔」「つながり」「感謝の心」を未来へ

— 塚戸小学校のよさを未来につなげる子どもたち —

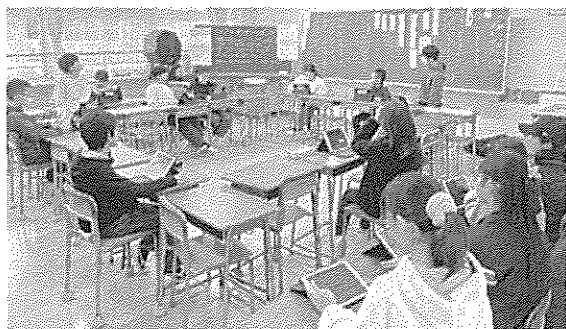
世田谷区立塚戸小学校 校長 長谷川 和恵

来年度、塚戸小学校は開校150周年を迎えます。子どもたちは、150年の時を経て、学校のよさが引き継がれてきていることをしっかりと受け止めています。卒業生たちの思いを受け止めながら、学校をさらによりよく変えていく大きな力となるために毎日学び続けています。塚戸小150周年を自分たちで創り上げていくために、4・5年生が中心となり、合言葉を考えました。全校児童に呼びかけ、思いの詰まった言葉を

つないでつくった合言葉。「笑顔」「つながり」「感謝の心」は子どもたちの考えた塚戸小の3つのよさ。

子どもたちが感じている塚戸のよさです。

全ての子にとって実り多い学びの場になるよう、これからも塚戸小学校では一人一人の可能性を伸ばしていくために教育の充実に努めてまいります。地域の皆様にはいつもあたたかくお見守りいただいています。この1年間、ご協力とご支援を賜りありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。



塚戸小開校150周年 おめでとう！

1万5000人が受け継いできた

笑顔・つながり・感謝の心

を未来へ！

エネルギーあふれる千歳中

世田谷区立千歳中学校 校長 和田 祐一郎

千歳中は今年度、3年生251名、2年生224名、そして新1年生198名を迎えて19学級673名でスタートすることができました。本校の学校生活の基本ルールである「懺」(た・す・き)◇大切にする、◇素直・正直、◇気づくを実践させ「安全・安心・安定した学校」にすべく、教職員一同日々精進しています。また、生徒の主体的な活動が盛んになるよう、生徒会役員や専門委員長が公約で掲げたことを実際に実現しようとしています。

さて本校の2大行事についてご紹介します。

運動会では生徒の声が印象的でした。競技の初めに円陣を組み、士気を高める声。競技中のクラスメイトを応援する声。係として注意喚起をしたり、用具の確認をする声。失敗してしまったことをフォローする声。様々な声飛び交います。それらの声はとても温かい感じがしました。

そんな声をかけながら運動会を進められる千歳中の生徒の素晴らしさを感じています。

学芸発表会は、パルテノン多摩で実施しました。各クラスの実行委員や指揮者、伴奏者そしてパートリーダーが中心となって、良い点や悪い点を分析し、よりよい歌にするために努力してくれました。同じクラスの仲間が互いを高め合い、ともに歌い、支え合うことが経験できたと言えるでしょう。本番では全クラスとも素晴らしい歌声が広がりました。

このように生徒の活動が充実できるのは、地域の方々や保護者の皆様の協力が大きな力になります。今後とも千歳中にお力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。



学芸発表会の様子

高校生活に充実した体験の場を

都立芦花高等学校 校長 松田 晴美

地域の皆様にはいつも温かな御支援を賜り、誠にありがとうございます。芦花高校は進学型普通科単位制の学校です。「自主・創造・誠実」を教育目標として掲げています。東京都教育委員会からは「進学指導研究校」、「海外学校間交流推進校」、「エンジョイスポーツプロジェクト指定校」の指定を受け、大学進学、国際交流、心身の健康を3つの柱として力を注ぎ、日々生徒に向き合っております。

令和6年度は体育祭、合唱祭、修学旅行等、本格的に学校行事を実施することができました。9月の「けやき祭り」(文化祭)では、各クラス、部活が出し物を企画し、来場者数は2700人余りを記録しました。本校に関心をもって下さる多くの方々に心より感謝を申し上げます。また、今年度は初めて「マレーシア海外研修旅行」を敢行しました。現地の姉妹校を訪問し、高校生や大学生と交流し、東南アジアの文化や宗教に触れる体験をしました。英語を話すことには多少緊張を要したかもしれませんが、参加した生徒たちは刺激的な発見の連続に大満足の様子でした。部活動では弓道部と陸上部が全国レベルの大会に出場を果たしております。心身ともに大人に近づいていく高校生には、生きた体験の場を多く与え、変化の激しい現代社会を逞しく生き抜く力をつけさせたいと考えています。地域の皆様との連携も取れるよう、今後ともお声掛け、励ましを何卒よろしくお願いいたします。



祖師谷児童館 「児童館＊新企画」

祖師谷児童館 館長 平田 春美

○第1回「そしビック」を実施しました。祖師谷地区で子育て支援をされているみなさん大集合のイベントです。おはなし会やミニコンサート、わくわくこどもごはんやお楽しみ会など盛りだくさんで、子育て親子さんの交流が広がる機会となりました。

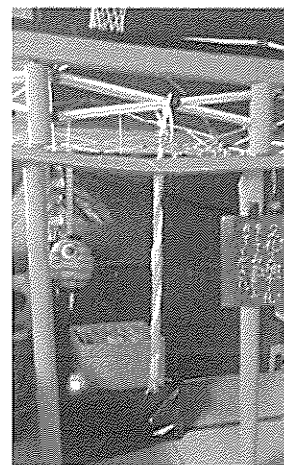
○「やってみたい!」を実現する子ども企画!「お化け屋敷」「くらやみクリスマスかくれんぼ」「3時のおやつはクッキー」などの企画を大成功させた子どもたちです。参加者数から子どもたちのやりたいの気持ちと口コミの力は素晴らしい☆彡が証明されました。

○「ゆりり庵」を始めて一年が経ちました。口コミでのスタートでしたが、悩みごとを相談し合い、また、いろいろな支援をされている方の参加もあり、つながる会となっています。参加者の「実はこんな趣味を持っています。」と一緒に楽しめる会にもなっています。

○中高生世代スペースを新設しました。のんびりくつろげる場、交流の場、遊びの場、学習の場!いろいろな使い方ができる場です。これからみんなの身近な児童館となるように進化していきます。



「そしビック」わくわくこどもごはん



子ども企画「お化け屋敷」

コロナ禍を経て、さらに・・・

青少年健全育成支援相談員 金指 宜和

コロナの時代が遠い昔の出来事のように感じられるほど人の流れが活発化しています。世田谷区内の青少年地区委員会もコロナ以前のように事業が実施されています。どの地区委員会も、コロナ禍の経験を生かして事業を見直ししたり、内容や方法を変更・工夫したりして、地域の子どもたちが楽しめるように活動を展開していただいています。

祖師谷地区委員会においても、昨年に引き続き2回目のポッチャ大会などのイベントを企画していただきました。また、今年度は「子ども施設見学会」が再開され、私も参加させていただきました。学校の遠足や社会科見学とは違った雰囲気、学校や学年の違う子どもたち同士で楽しい1日を過ごすことができたと思います。大人と程よい距離感をもって接する子どもたちでしたが、事故やトラブルもなく無事終えることができたのは、引率していた委員の皆さんが上手に対応していたからだと思います。

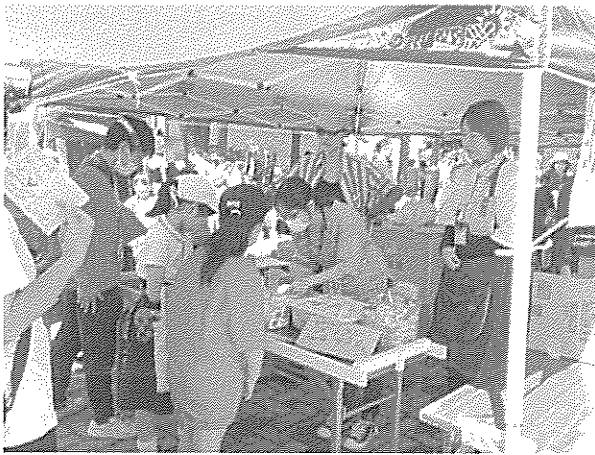
コロナで「失われた3年間」と言われています。子どもや若者にとって密度の高い時期に体験できること、経験すべきことの多くが奪われてしまった3年間でした。それだけに、家庭や学校とともに、地域が子どもや若者のサポートをしていく必要があります。人はいろんな人と交流し、叱られたり褒められたりしながら、また失敗したり成功したりしながら自分のアイデンティティを築いていきます。家庭でも、学校でも、そして地域の中でも自分らしさを発揮できる居場所をもてるようにしたいと思います。

そしがや子どもフェスティバル

令和6年6月16日(日)

主催 祖師谷児童館

昨年に引き続き、祖師谷児童館で開催された子どもフェスティバルは、天候にも恵まれ多くの人で賑わいました。地区委員会では今年も駄菓子屋を出店し、特に飴が大人気でした。初夏を感じさせる暑さの中、お菓子が溶けないように対策も万全に。占い師さんのブースもあり、どのブースも子どもから大人まで楽しめるイベントだったのが印象的でした。多くの笑顔に溢れ、子どもたちの思い出に残る日になったことでしょう。



そしがや夏まつり

令和6年7月13日(土)

主催 祖師谷子ども健全育成の会

第15回となる祖師谷小学校の夏まつりは、前日まで雨予報でしたが、当日の夕方に雨雲が押し寄せるまでは見事な青空に恵まれました。

小銭を握りしめた子どもたちは笑顔いっぱい！今年は去年の反省を活かし、肉団子やジュースはしっかり冷やして提供することができました。もちろん、ミニフランクや恒例のゼリーすくいも大盛況で、多くの方に楽しんでいただきました。



施設見学

令和6年 7月22日(月)

主催 青少年祖師谷地区委員会

コロナ禍を経て5年ぶりに開催することができました。今回の見学施設は、「科学技術館」と「しながわ水族館」の豪華2本立て！夏休み初日の朝8時、抽選で見事当選した小学生76名と地区委員等の大人15名が2台のバスに乗車し、山野公園を出発しました。行きのバスは添乗員さんによる楽しいお話・クイズ大会・DVD上映で盛り上がり、子ども達の緊張をほぐすことができました。

1ヶ所目の科学技術館は、各業界団体や企業などと提携した展示室で様々な技術を体験することができます。各班で館内を見学し、巨大シャボン玉、バイク・大型トラックの運転シミュレーター、物理の原理を応用した鉄球はこび等、子ども達は大いに盛り上がりました。

お弁当を食べた後は、しながわ水族館へ。イルカ・アシカ・アザラシ・巨大水槽からみる水中ショー等、すべてのイベントを楽しむことができました。

午後になると各班で仲良くなり、上級生が下級生の面倒を見てくれる場面もありました。

帰りのバスは、お土産の冷たいジュースを飲みながら、大半の子ども達はスヤスヤ夢の中。夕方は全員笑顔で解散し、大満足の一日となりました。



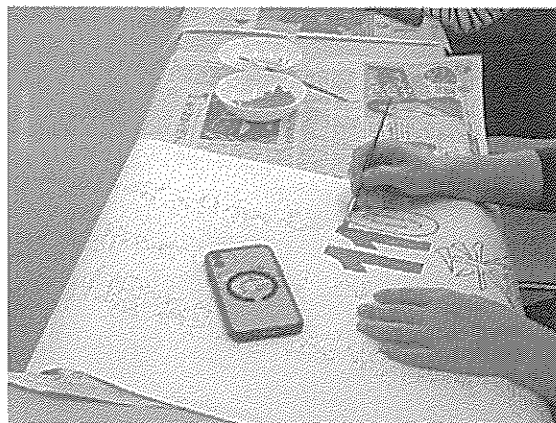
不審者対策看板作成

令和6年12月3日(火)

主催 青少年祖師谷地区委員会

子どもたちを見守る、大きな目玉が特徴の「不審者対策看板」を毎年手作りしています。

手作りによる看板の防犯効果はとても高いそうで、私達も楽しみながら作業しています。



塚戸サバイバルキャンプ 防災体験

令和6年 9月7日(土)

主催 塚戸小学校学校協議会

例年夏に防災宿泊体験として実施されているサバイバルキャンプですが、昨年同様今年度も9月に日帰りでの開催となり、5.6年生 56人と大人のスタッフ約100人の参加での実施となりました。

電話通報訓練・簡易担架の取り扱い訓練・消火器訓練・仮設トイレ使用説明・AEDの使い方に加え、防災倉庫の備蓄品の確認等のプログラムをグループに分かれて順番に体験しながら楽しく学んでいました。

地区委員会では防災食であるアルファ米の炊き出しに加え、今年は温かいコーンスープも添えてビスケットと一緒に配食しました。「おいしい」と言ってコーンスープをおかわりしてくれる子どもたちが印象的だったのと、温かい食事は心身ともにリフレッシュできるのだと改めて感じました。

食後、すっかり外も暗くなり子どもたちは山の本文庫さんによる怖いお話を聞き、真っ暗な夜の学校探検をするという普段はなかなか体験することのできないイベントもありました。

昨今日本だけでなく世界中で起こっている自然災害ですが、子どもたちも真剣に防災体験に取り組んでいて、大人にとっても子どもにとっても有事への心構えを養えるよい機会となりました。



アルファ米にお湯を入れて
1箱50人分が50分で出来ます



お楽しみの夕食アルファ米と
スープです

学校関係者との意見交歓会

令和7年2月4日

主催 青少年祖師谷地区委員会

地域の連携と情報の共有を目的に、地域の学校・団体の代表の方々にご出席いただき、学校や地域での子どもたちの様子や課題などを話し合う意見交換会です。

コロナ禍があけて2年、学校や地域での行事の多くは再開され、日常も取り戻したかのように見える中、途絶えた保護者間のつながり、増え続ける不登校者数に、まだまだ影響が残っていると言わざるを得ません。小中学校や高校での現状を伺い、児童館や地域がどのように関わっているか、自由闊達に意見を出し合うことができ、とても有意義な時間となりました。今後も、さまざまな視点から祖師谷の子どもたちを見守っていきたいと思います。

意見交換会の構成メンバー

祖師谷小学校・塚戸小学校・千歳中学校・芦花高校の校長先生方、各PTA代表の方々、

各小学校新BOP事務局長、祖師谷児童館長、青少年委員、主任児童委員、当地区委員会会長・副会長、祖師谷まちづくりセンター所長・係長・担当主事

子どもボッチャ大会

令和7年3月2日(日)

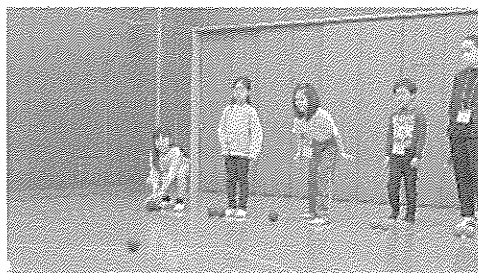
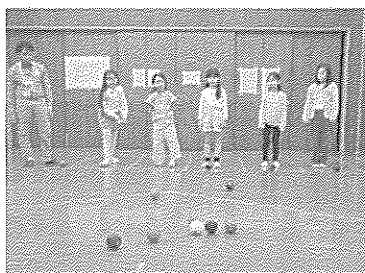
主催 青少年祖師谷地区委員会

昨年から新たな企画として始まったボッチャ大会。小学生を対象に、まちづくりセンター地下体育室にて開催しました。当日は児童9名が参加し、大人も含めた全5チームで総当たり戦を行いました。

初めての子もすぐにコツをつかみ、絶妙な投てきにみんな大盛り上がりで、ボッチャは老若男女・さまざまな違いを問わず誰でも楽しめるスポーツだと実感しました。

対戦結果発表後、金・銀・銅のメダル授与が行われ、子どもたちは首から下げたメダルに大はしゃぎでした。

後半は、スライム作り。赤・青・黄色の絵具とラメを混ぜて、自分の好きな色に仕上げました。その色いいね！と子どもたち同士でほめあう姿も見られました。



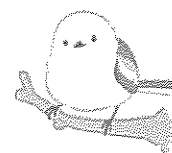
当地区委員研修会

令和7年3月26日(水)

講師 山口 有紗 氏

小児科専門医・子どものこころ専門医

国立成育医療研究センターこころの診療部臨床研究員



青少年地区委員会は、区内に28あり、各まちづくりセンター管内の町会自治会・商店会から推薦された方々や、青少年委員・主任児童委員・民生委員・小中学校の校長先生方とPTAの方々等で構成されています。地区委員会ごとに、構成や活動はさまざまです。



当地区委員会の事業や活動をより良いものにするためのヒントや参考となるよう、「地区委員会とはどのような役割を担うのか」「この地域に適した事業や活動とは何か」などについて研修会で学ぶ機会を設けています。